

# 伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターニュース

## 日の出とともに飛び立つ 10万羽のマガン

マガンは、日の出とともに餌場へと飛び立ちます。  
現在(11月21日時点)伊豆沼・内沼には104,972羽  
のマガンが飛来しています。

(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団  
〈事務局〉  
〒989-5504  
宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2  
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217  
ホームページ: <http://izunuma.org/>  
E-mail: [izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)



一斉に飛び立つマガン

## ◇活動報告

### ガンの飛び立ち観察会&ラムサールツアー

11月8日、23日に伊豆沼・内沼自然体験講座「ガンの飛び立ち観察会&ラムサール湿地見学ツアー」を開催しました。このツアーは、伊豆沼でのマガンの飛び立ちを観察するだけでなく、伊豆沼・内沼と同様にラムサール条約登録湿地となっている蕪栗沼と化女沼を巡りました。半日で3ヶ所ものラムサール湿地を見学できるツアーは他にないため、遠くは関東から参加された方もおりました。



ガンの飛び立ちを待つ参加者の皆さん

両日とも天候にも恵まれ、特に8日は、朝日を背景に一斉に飛び立つマガンの群れを見ることができました。空一面に羽ばたくマガンを見上げて、参加者からは、思わず「うわあー、すごい!」と声が上がりました。また、蕪栗沼では、ガイドの解説を聞きながら、オオヒシクイなどの野鳥を観察しました。化女沼では、ガイドから鳥の見分け方や生態について解説してもらいながら、沼で羽を休めるカモのなかまを観察しました。ツアーを終えた参加者は、湿地ごとに異なる自然や鳥たちを見ることができ、とても満足していました。



農家レストラン「四季味」の美味しい朝食の時間です。



蕪栗沼にはオオヒシクイがたくさんいました。



化女沼では渡り鳥の見分け方を教えてもらいました。

## ◇高病原性鳥インフルエンザについて

平成26年11月19日に、国指定伊豆沼鳥獣保護区内で死亡していたオオハクチョウから、鳥インフルエンザの陽性反応が簡易検査で検出されましたが、その後の専門機関による詳細検査の結果、このオオハクチョウは鳥インフルエンザにかかっていなかったことが判明しました。

鳥インフルエンザ問題に関しましては、伊豆沼・内沼では、野鳥の監視や主な観察場所への消毒槽の設置など、対策を既に行っておりますが、今回の件を受けて、更なる監視強化に努めてまいります。鳥インフルエンザウイルスは、野鳥の観察など、通常の接し方では、ヒトに感染しないと考えられていますので、正しい情報に基づいた冷静な行動をお願いいたします。

## 10万羽のマガンがやってきた！

11月21日の調査で、伊豆沼・内沼では10万4,972羽のマガン確認されております。10万羽を超えるマガンの飛来数は初めてで、日本一の飛来数となります。また、オオハクチョウも日本一の飛来数となっており、伊豆沼・内沼は鳥類の越冬場所として、益々重要になっているようです。飛来したマガンの中には、1羽だけですがハクガン(左)も混じっており、2工区などに出現するようです。マガンの群れの中にいますので、驚かさないように、そっでご覧下さい。



ハクガン

## 「新人職員紹介コーナー」千葉 享子(ちば きょうこ)

4月から職員となりました千葉 享子と申します。迫町新田在住です。地元育ちですので、小さい頃から伊豆沼・内沼は身近なものでした。一年を通じて沼は様々な自然の表情を見せてくれますが、私が一番好きなのは「冬の伊豆沼」です。たくさんの渡り鳥で賑わいますが、凍てつく厳しい寒さの中で生きる彼らに命の躍動を感じ、自然の尊さを改めて考えさせられるからです。

サンクチュアリセンターに勤務してから、伊豆沼・内沼の素晴らしさ、貴重さを更に強く実感するようになりました。もっと多くの方にこの沼を知ってもらえるよう、お手伝いが出来ればと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



## ◇渡り鳥飛来情報(2014年11月21日)

ガ ン 類	104,972 羽
ハクチョウ類	3,086 羽
カ 毛 類	453 羽
合 計	108,511 羽



朝焼けの空を覆うマガンの群れ